|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ※受付番号 | ※抽選番号 | ※抽選結果 | ※種別 |
|  |  |  |  |

 (様式第1号)

村営住宅入居申込書

原村長　　　　　　　　様

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申込人 | 本 籍 | 連絡先 | 自宅 |
| 住 所 | 勤務先 |
| (続柄) | 氏　名 | 性別 | 生年月日 | 職業 | 勤務先 | 所得額 | 扶養控除等 |
| 配 | 扶養 | 老人 | 障害 | 特障 | 寡婦 |
| 本 人(名義人) |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 同居親族 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 扶養親族同居以外の |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 合計 |  |  |  |  |  |  |  |
| 住宅法上の収入(月額) | 円 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 住宅の困窮状況(該当に○印をつけること) | 現在の居住状況 | 現住所の案内図 |
| １ 住宅以外の建物に居住している。2　保安上危険又は衛生上有害な状態にある住宅に居住している。3　他の世帯と同居して著しく生活上不便を受けている。4　住宅がないため親族と同居できない。5　風紀上不適当な住宅に居住している。6　正当な理由により立退きを要求されている。7　通勤が困難である住宅に居住している。8　過大な家賃を払っている。(　　　　円)9　その他の理由(具体的に記入すること) | 1. ア持家　イ借家

ウ間借　エ 寮オ下宿　カその他 |  |
| 1. 現在の住宅延面積

　　　　　　坪 |
| 1. 現在の

畳数・室数 | 畳 | 室 |
| 4　家賃　　　　　　　　円 |
| 5　その他特記事項 |

添付書類　１．所得証明　2．婚約者のある者は婚約証明書　3．事実を証明する書類

(記入上の注意)

1. □太枠内の必要事項を記入すること。
2. 「職業」欄及び「勤務先」欄は、詳細に記入すること。
3. 「所得額」欄は、申込者及び同居親族のこの申込みをした日の属する月前1年間に受けた収入(所得税法(昭和40年法律第33号)第2編第2章第1節から第3節までの例に準じて算出した所得額)
4. 「同居親族」欄は、現に同居し又は同居しようとする親族(婚姻の届出をしないが事実婚姻関係と同様の事情にある者及びその他の婚姻予約者を含む)を記入すること。
5. 同居しようとする親族が婚姻予約者であるときは、「続柄」欄に「婚姻予約者」と記入すること。
6. 「同居以外の扶養親族」欄は、村営住宅へ同居しない者で扶養している者を記入すること。
7. 「扶養控除等」欄は、該当する箇所へ○印をし、合計欄へ人数を記入すること。

(用語の定義)　「控配」　・・・　控除対象配偶者　 ( 所得税法第2条第1項による　 )

 「扶養」　・・・　扶養親族　　　　 (　 　　　 〃　　　　　 　　　 )

 「老人」　・・・　老人扶養親族　　 (　　 　　 〃　 　　　　　　　 )

 「障害」　・・・　障害者　　　　　 (　　 　　 〃　　　 　　　　　 )

　　　　　　　「特障」　・・・　特別障害者　　　 ( 　 　　 〃　　　　　　　　 )

 「寡婦」　・・・　寡婦　　　　　　 ( 〃 )

8　　「住宅困窮状況」欄の1から８まで及び「現在の居住状況」欄の1は該当事項に○印をつけること。

9　　収入状況を証明する書類とは、勤務先の長の証明又は官公署の証明したものとする。

10　 事実を証明する書類とは、婚姻の届出をしないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者にあっては住

民登録票等、婚姻予約者について仲人又は双方の親の証明したものとする。